

緊急時情報力強化推進方針について

検討の経緯・目的

東日本大震災では、ネット活用による安否確認等、情報通信技術が貢献
一方、停電で情報の途絶、混乱も

災害等をはじめ、もしもの時の備えを考える必要性を実感

緊急時「情報力」強化検討会議を設置・検討

考え方を取りまとめ「緊急時情報力強化推進方針(案)」を提出

情報力強化推進方針

- 緊急時に、情報通信技術をどのように使い、安全・安心とコミュニケーションを確保するのか
- 県民一人一人がどのような行動をとればよいのか
- 産学官・地域等は、県民を支えるため、どんな役割を担うのか
- 基本的な考え方を県民目線で整理

■ 5つの基本的な考え方 ■

1 情報を確実に受け取る

もしもの時、どこかと、誰かとつながっていることが助けとなります。
日頃から、情報をいつでも確実に得られるような備えを考えておきましょう。

2 情報をよく読み取る

もしもの時、間違いなく情報を読み取ることが大切です。
日頃から、信頼できる情報、最新の情報が入手できるような備えを考えておきましょう。

3 情報をうまく使う

もしもの時の的確な判断と行動は、あなたの情報が支えます。
日頃から、情報をどう活かすか、情報にそってどう行動するか、考えておきましょう。

4 自ら情報を発信する

もしもの時は、あなたも情報の発信者の一人となります。
日頃から、情報を適切に発信できるような行動を身に付けましょう。

5 情報でみんなを支える

もしもの時、あなたの情報で人を救ったり、周りの人を助けることができます。
日頃から、情報をどう使えばみんなのために役立てられるか考えてみましょう。